

障害児の父親像の研究

山本 勇志 (福井県小児療育センター)

村田 実, 吉田 修次 (福井県小児療育センター)

大塚 富夫 (福井県特殊教育センター)

嶋内 政治 (福井県中央児童相談所)

渡辺嵯恵子 (仁愛女子短期大学)

福井県の母親の育児態度の調査に続いて、我々は父親についての調査を行なうこととした。

我々の研究の目的は二つある。第一は、障害児を持つ父親の示す特性を確かめたいということである。障害を克服し社会復帰を目指す道程はとても長くても厳しい。我々の目にまずふれるのは、子供を抱えて献身的な世話をする母親の姿であるが、この努力が永続するか挫折するか、父親がこの子と母をどう支えるかという因子が大きく関係していると思われる。父親の特性と役割に興味を持ったゆえにである。第二は登校拒否を中心とした情緒障害児の父親の像である。父の権威の失墜は登校拒否の成立要因として注目されている。

どのような特性を示す父親像がこの現象につながるのか、障害児医療と情緒障害児のカウンセリングを行ない、現実には数多い症例に接する我々の是非解明したい事柄である。

そのためには、父親の一般的なイメージと求められる役割を明確に浮き彫りにした上で、上記の父親群がどのように deviate しているかを調べる必要があると考えた。文献の検討を重ねた上で、我々は母親像と同じく我々の手で、その評価の基準となるものを作り出

してみたいと考えるに至った。

第一の手段として、現在幼児から高校生に至る子供を持つ父親が、(1) 自分を「父親だな」と感じたのはどのような場面か、(2) どのような父親になろうとしているか、(3) 自分の父親をどの様に評価しているか (4) 自分の子がどのような父親になってほしいか、あるいは、どんな父親である男性の妻になってほしいかを問いかけ、その回答の内容を解析して父親に求められる理想像と役割を明らかにしたいと考えた。第二の手段として、この解析の結果を投影する質問紙を作成する。第三の手段は広範囲のフィールド調査を行なって、福井県の父親の標準像を求める。第四の手段として、我々が接している障害児を持つ父親の資料を集め標準像と比較してその特徴を障害別に調べ、障害の克服、予後との関連も検討しようという計画である。

私達は第一段階の調査のため表1のごとくアンケートを作成した。○×式でなく、記述式であり、その内容が複雑なため回収率は20%ぐらいと考えて、最低500の資料を得るため、2500部を発送した。意外にも回収は80%を越え、手作業の処理が困難と考えられる事となった。現在コンピューター処理のためのプログラムを検討中である。

表1

1. あなたはこれまでに、自分を父親だなど感じたり、父親としての役割を求められているなど感じた場面がありますか。それはどのようなことですか。

① それはどんな場面でしたか

② それは何才頃のことでしたか あなた（ 才頃） 子ども 才頃 男・女

③ その時あなたはどうしましたか

④ 自分のしたことについてどう感じましたか

⑤	①について誰かに聞かされたのですか	自分で気がついた	聞かされた——誰に（
	③について誰かに相談しましたか	自分で処理した	相談した——誰に（

2. 日頃、父親として努力していることがあればろつ程度お書きください。

3. あなたの父親についてお尋ねします。

(1) 今までに、父親に対して「父親だな」と感じたことがあればあなたが何才の頃だったか、どのような場面だったか自由にお書きください。

(2) 父親についての印象をお書きください。
(厳しさ、やさしさ、頼もしさ、子どもへの相手の仕方などどのようなことでも結構です。)

(3) 父親に比べてあなたご自身はどのようだと思いますか。

4. あなたのお子さんについてお尋ねします。

(1) 男のお子さんにはどんな父親になってほしいと思いますか。

(2) 女のお子さんにはどんな男性と結婚させたいと思いますか。



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



福井県の母親の育児態度の調査に続いて、我々は父親についての調査を行なうこととした。我々の研究の目的は二つある。第一は、障害児を持つ父親の示す特性を確かめたいということである。障害を克服し社会復帰を目指す道程はとても長くてしかも厳しい。我々の目にまぶれるのは、子供を抱えて献身的な世話をする母親の姿であるが、この努力が永続するか挫折するか、父親がこの子と母をどう支えるかという因子が大きく関係していると思われる。父親の特性と役割に興味を持ったゆえにである。第二は登校拒否を中心とした情緒障害児の父親の像である。父の権威の失墜は登校拒否の成立要因として注目されている。